

# 裏磐梯 穴沢一族の城と墓

穴沢一族は、戦国時代に会津の草名氏家臣で、裏磐梯の松原を支配していました。松原峠北側の米沢を支配していた伊達氏がたびたび、峠を越えて松原に進攻してきた。1585年、伊達政宗が進攻し、ついに敗北し、一族はほとんど岩山城で討死しました。一族の墓は、江戸時代に作られたものですが、1888年の磐梯山噴火で現在地に移転しました。

## 山神社

この神社は、1888年7月15日の磐梯山爆発で水没しなかった松原集落の神社です。鳥居と巨木の痕跡が松原湖中にあり、その先には松原集落がありました。



## 戸山城

穴沢氏が永禄7年(1564)に築いた日本で最高位(1037メートル)にある大規模な山城跡。翌年、伊達氏に攻められ、落城はしませんでした。城は南東の岩山城へ永禄9年に移転しました。

## 岩山城

松原湖中に半島として浮かぶ堂場山には「岩山(いわやま)城」があります。天正13年(1585)11月に政宗に攻められ落城しました。